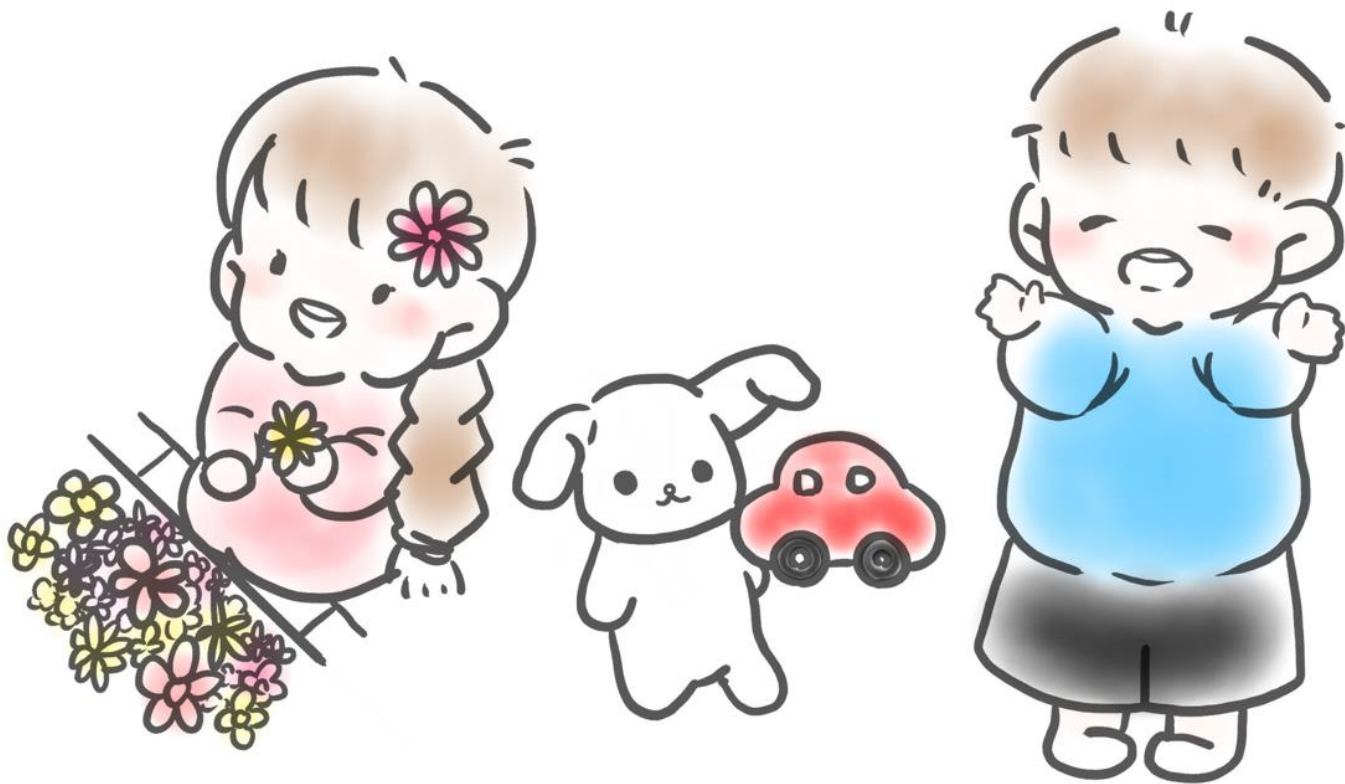


笑顔の向こうに ～私だけが伝えられる命の語り部～



著 者 ・ 発 行 者：兵庫県立松陽高等学校 防災ジュニアリーダー
イラスト ・ デザイン：兵庫県立松陽高等学校 美術部
高砂市立伊保小学校
高砂市立荒井小学校



1993年7月 やっと会えたね。

ずっと夢見ていた、ふたりとの生活。

ふたごの育児は大変だったけれど、
そんな大変ささえも幸せだと感じる毎日。



「エンジェルスマイル」

生まれてすぐの赤ちゃん
のほほえみ。

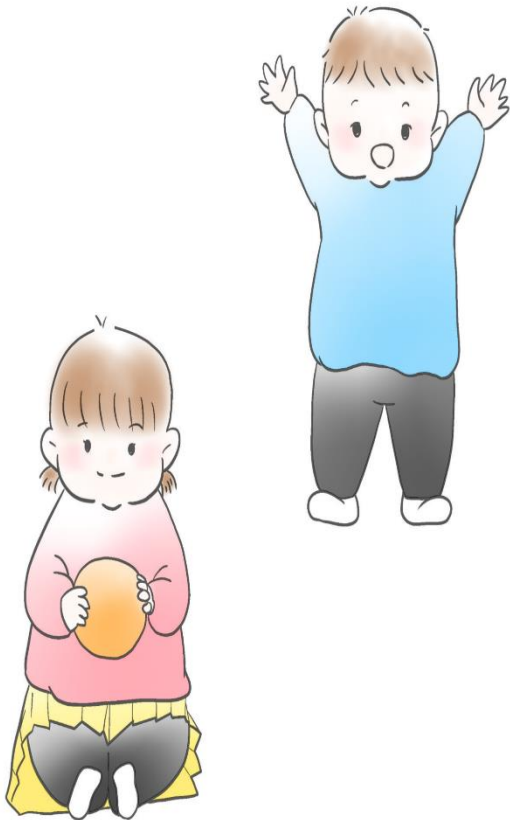
子供ができなくて泣いていた
悲しい思い出さえ、
幸せな思い出に変えてくれる
魔法のほほえみだった。



1995年1月

ふたりは、お互いの名前を
言えるようになった。

ママは、最後にお互いの
名前を呼び合うことが
できるようになって、
本当に良かったと思う。



そんな幸せな毎日を
過ごしていたけれど、

1995年1月16日

これが家族で撮った
最後の写真になってしまった。



1995年1月17日
阪神淡路大震災。

守ってあげられなくてごめんね
助けてあげられなくてごめんね
一人ぼっちで行かせてごめんね
ママが、生きていてごめんね

そして...
そばに行ってあげられなくてごめんね





突然、しょうくんを失ったという大きな悲しみ。
ママは、どう生きて行ったら良いのかわからなかった。
「ママの姿が見えない」と
ママを探して泣いていたしょうくん。



天国でもママを探して、
ひとりぼっちで泣いている
しょうくんの姿が、頭から離れない。



しょうくんの写真を抱きしめて、離さないゆうちゃん。
しょうくんの写真にキスしたり、ご飯を食べさせてあげたり…

しょうくんがいなくなってしまうても、
ゆうちゃんはしょうくんのことが大好きだった。

しょうくんが
死んでしまって、
悲しかったのは
ママやパパだけじゃ
なかったんだね。



「死」の意味もわからない。
言葉も話せないゆうちゃんは、小さな体で
一生懸命に悲しみを表現していたんだね。

なのに、パパとママはそんなあなたの悲しみを、
どうしてあげれば良いのか考える余裕もなかった。

ママが悲しんでいるのを、ずっとそばで見っていたゆうちゃん。
あの時のあなたは、大好きなしょうくんと
ママのふたりを失ったのと、同じだったかもしれないね。



“しょうくんのところに行かないで”ゆうちゃんと生きること
それが、その時のママが
しょうくんのためにできる精一杯の事だった。



大きな悲しみの中から、見えてきたふたつの光。

遠くの方でキラキラと輝いて、
ママが生きていく先を照らしてくれている光と、
ママのそばでキラキラと輝き一緒に歩いてくれた光。



その光の中にいたのは、笑顔のあなた。

ちっちゃい手にたくさんのお花を持って、
ママに向かって満面の笑みで
こう言ってくれた。

「ママ、大好き！」



ゆうちゃんの笑顔は、ママをたくさん笑顔にしてくれた。

そして、ママも笑顔になると、あなたはもっとたくさん
の笑顔をママにプレゼントしてくれた。

そして、そんなゆうちゃんの笑顔の向こうに、
しょうくんの笑顔も感じとることができた。



2人に笑顔でいてほしい。

だから、ママは笑顔で楽しく生きることに決めた。

2011年3月11日 東日本大震災

高校生になったゆうちゃんと、いろんな話をしたね。

震災の事、しょうくんの事…ゆうちゃんが小さかった時の事…

ママがどうやって生きてきたのかや、これからの事…



ゆうちゃんといろんな話をしたことで、
あの日から時間を見つめ直すきっかけとなった。

そして、ゆうちゃんにあの日の事、あの日からの事を
ちゃんと伝えなくてはと思うようになった。



そして、ゆうちゃんと一緒に
あなたたちの小さい時のビデオを観た。

悲しくて泣いちゃうと思って、
ずっと見ることはできなかった。



ふたりの小さい頃のビデオだったけれど、
そこには、たくさんの幸せが詰まっていた。

かわいいふたりを見ていると、心がとても温かくなっていった。



悲しみのむこうから、幸せだったあなたたちとの日々が、
ママにやさしく手を振っている
そんな気がした。



ゆうちゃん

悲しみの中であなたと一緒に過ごしてきた時間が、
ママは悲しみの中から歩き出す力になって、もう一度、
前を向いて笑顔で生きていこうと思えるようになった。



そして、いつの日か
あなたに訪れる悲しみ。

ママと過ごした楽しい時間が、そこから歩き出すための
力になればいいなと思う。

ママの生き方すべてがあなたへのメッセージになるよう、
しっかりと前を向いて生きていくからね。



しょうくん

今、ゆうちゃんの中にしっかりと
あなたが存在しているって感じるよ。

あなたの大好きなゆうちゃんは、今でもあなたの事を大好きで
いてくれているよ。



悲しむだけがあなたを想う方法じゃないんだよね。

ママは、笑顔で生きることにしたよ。

それが、哀しみ・後悔・罪悪感という苦しい時間の中で、
ママがあなたを想って、やっとやっと見つけた生き方。

ママのこの笑顔が、あなたの心にも届くと信じてる…



あとがき

私たち兵庫県立松陽高等学校 防災ジュニアリーダーは、高井さんのお話を聞いて「両親の愛情」と「命の大切さ」に気付くことができました。

高井さんの被災体験を風化させないためにも、今度は私たちが高井さんの想いを伝え・後世に繋いでいく使命を果たします。

たった一人の命を失うことが、多くの人をどれだけ悲しませるのか…
将くんが死をもって教えてくれました。



これからも、私たちが伝えられる「命の語り部」と、減災活動のために商品開発した災害食のパンの缶詰「松の陽だまりパン」によって、繋がる命があると信じてこれからも活動をしていきます。





非常用持ち出しぶくろの中身を考えよう!!

みなさんは、地震が起こった時のために準備をしていますか？
必要な物を準備して、もしもの時に備えましょう。



- ① 18ページの表の中から、必要だと思うものを5こ選んでみよう！
- ② 選んだものが、なぜ必要なのか話し合おう！
- ③ 実際にお家で、準備してみよう！



非常用持ち出しぶくろに入れる5このもの

--	--	--	--	--



非常用持ち出しぶくろリスト

 かいちゅうでんとう 懐中電灯	 ガムテープ	 ひじょうしょく 非常食	 トイレトペーパー	 モバイルバッテリー	 いんりょうすい 飲料水
 げんきん 現金	 雨具(あまぐ)	 きゅうきゅうようひん 救急用品セット	 コンタクトレンズ	 はみが 歯磨きセット	 みぶんしょうめいしょ 身分証明書
 スマートフォン	 ちず 地図	 つうちょう 通帳・キャッシュカード	 けいたい 携帯ラジオ	 ロープ	 つかす 使い捨てカイロ
 ライター	 メガネ	 マスク	 しんぶんし 新聞紙	 あんぜんぐつ 安全靴	 じょうびやく 常備薬
 ポリぶくろ	 パジャマ	 きゅうすい 給水タンク	 ばんのう 万能ナイフ	 りにゅうしょく 離乳食	 ヘルメット

この絵本は、CD「笑顔の向こうに」に付属している冊子をもとに、
たかいちづ様・たかいゆう様・臼井真様・森祐理様にご協力を
頂き、下記のProject Teamの協力のもと、再編集をして製作し
ました。

笑顔の向こうに

発 行 日：令和3年3月11日 第1刷発行

著 者 ・ 発 行 者：兵庫県立松陽高等学校 防災ジュニアリーダー
私だけが伝えられる命の語り部Project Team
2年生 溝口 涼太郎・3年生 内田 愛梨
顧問 北川 欽一

発 行 所：株式会社グラフィック

イラスト・デザイン：兵庫県立松陽高等学校 美術部
2年生 阿部 玲那・2年生 石田 麻実
顧問 中谷 太一

高砂市立伊保小学校
6年生 西山 歩希・顧問 谷川 陽祐

高砂市立荒井小学校
5年生 安野 正輝・5年生 鷹巣 壮希

製 作 協 力：たかいちづ・たかいゆう・臼井真・森祐理